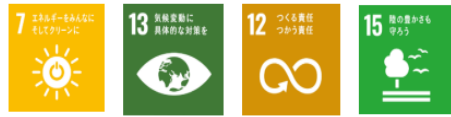


②環境保全



目標7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
目標15. 陸の豊かさを守ろう

目標13. 気候変動に具体的な対策を

・省エネルギー



地球温暖化防止、異常気象、水害、砂漠化等の防止



CO2削減計画(目標)

Frist Stage: 2030年目標 2018年度比CO2排出量▲30%

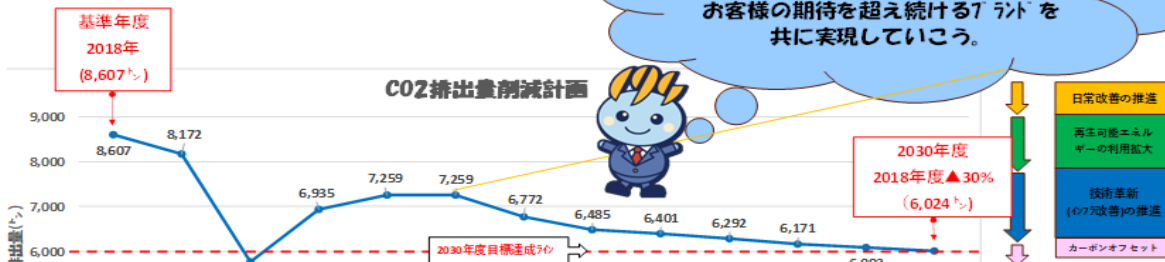
(Scope1・2からスタートし順次Scope3<海外子会社含む>への取組みを開始する)

Second stage: 2050年目標 CO2排出量ゼロへのチャレンジ

First stage : 2030年目標

イクヨグループCO2削減の実現に向けた取組み

・2030年度までに2018年度比CO2排出量▲30%削減



逆境の中でも「飽くなき挑戦」を続け、
職場の仲間とチームとなり、
「One IKUYO」を大切に、
お客様の期待を超え続ける7 ランドを
共に実現していこう。

CO2排出量(トン)	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
●系列1	8,607	8,172	5,771	6,935	7,259	7,259	6,772	6,485	6,401	6,292	6,171	6,093	6,016

		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	
事業の成長に伴う増減			0	0	0	0	0	0	0	0	
太陽光発電				▲417	0	0	0	0	0	0	
電力消費量の削減				▲55	0	▲84	0	▲70	0	▲17	
	射出成型機を油圧から電動に切替			0	▲284	0	0	0	0	0	
	射出成型機の保温カバー			0	0	0	0	0	0	0	
	射出成型機の潤滑油変更			0	0	0	▲109	0	0	0	
	コンプレッサーの圧力低減			▲15	0	0	0	0	0	0	
	ホッパードライヤーの保温カバー			0	▲4	0	0	0	0	0	
ガス消費量の削減				0	0	0	0	0	▲18	0	
	乾燥工程の電動化			0	0	0	0	0	0	▲18	
	排出量の見直し(オフセット前)	7,299	7,259	6,772	6,485	6,401	6,292	6,221	6,203	6,186	
	非化石価値の購入			0	0	0	0	▲50	▲110	▲170	
	排出量の見直し(オフセット後)	7,299	7,259	6,772	6,485	6,401	6,292	6,171	6,093	6,016	
	2018年度比低減率		▲15.7%	▲15.7%	▲21.3%	▲24.7%	▲25.6%	▲26.9%	▲28.3%	▲29.2%	▲30.1%

目標14. 海の豊かさを守ろう



- ・ 廃プラスチック削減

(廃プラ海洋汚染防止：活動内容は写真の下)



* プラスチック資源循環法の順守、アクションプランに沿った積極活動、目標必達
(海洋プラスチックごみ撲滅、資源枯渇防止)

廃プラスチック低減計画

★廃プラスチック総量 (t/年) ÷ 製造投入プラスチック総量 (t/年) × 1,000 ⇒ 左記の比率低減

* 廃プラスチックの定義：排出時に manifests 伝票発行し産廃処理委託するもの。

単材で分別された不良品はリサイクル可能で有償売却できるため、廃プラには含まれない

基準年：2022年度 (t/年)

廃プラ総量 221.9

投入量 6,796,645

廃プラ率 3.26%

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027
目標値(対基準年度)		△20%	△22%	△24%		
廃プラ率	3.26%					
達成度(2022年度比)						

* 各年度中の月次の経過はISO推進室で算出、監視する

目標12. つくる責任、つかう責任

環境配慮型製品開発



3R活動 ⇒ サークュラーエコノミー（循環型経済）へ

ikuyo ONLY ONE

トランスパレンシー塗装
CASE対応ソリューション
(特許第6782386号)

Only One 1
球状のナノ銀塗装によりミリ波レーダー透過性あり

Only One 2
チタン調、サテン調などの様々なカラー表現可能

Only One 3
環境対応塗料仕様(トルエン、キシレン、エチルベンゼンなど非含有)



現状 3 R 推進

原材料 ⇒ 再生材使用推進

工程内不良低減

環境配慮型設計

軽量化、分解し易い構造

ライフサイクルでの環境影響評価推進

・ JAPIA LCI算出ガイドラインの活用

・ カーボンフットプリント (LCでの炭素総排出量算出)

化学物質規制順守システム確立

原材料・副資材 (購買)、製造工程、保管、物流

リ
サ
イ
ク
ル
性
向
上

環境保全全般

環境マネジメントシステム (ISO 14001) の構築、継続的改善